



カバーストーリー

雨あがりの東京駅

東京駅丸の内駅舎は1914年竣工・辰野金吾設計による鉄骨煉瓦造の建物であり、2003年に国の重要文化財に指定されました。東京駅は1923年の関東大震災でもほとんど被害はありませんでしたが、1945年の東京大空襲により被災し、戦後の戦災復興工事による姿のまま60年以上使い続けられてきました。創建以来その機能を止めたのは戦災後の約1日のみです。

東京都とJR東日本は魅力ある都市景観をつくるため、2014年から丸の内駅前広場を整備しています。デザイン照明や四季を彩る植栽のほか、行幸通りとの一体性を考慮に入れて御影石を舗装に採用しました。雨天の日、ライトアップされた赤レンガ造りの駅舎が御影石の水たまりに映りこみ、「逆さ駅舎」が出現し、幻想的な姿に変わります。

イサキ

イサキというのは成魚になってからの名称で、幼魚の頃はウリボウと呼ばれています。幼魚と成魚で名前が異なることから出世魚と混同されやすいですが、名前を変えるのは一度のみのため、出世魚には分類されません。

標準和名「イサキ」は磯に棲むことに因んだ「磯魚」（イソキ）、または幼魚の縞に因んだ「班魚」（イサキ）に由来すると云われています。また、イサキの骨は硬く鋭く、鍛冶屋でも難儀するとして、また喉に刺さると痛くて命とりにもなりうるとして和歌山では「鍛冶屋殺し」とも呼ばれています。

春から夏にかけて旬で「梅雨イサキ」「麦わらイサキ」と呼ばれています。

目次

	○ごあいさつ 2 全国安全週間の実施に向けて 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課長 金石 英雄
	○特集 3 令和4年の建設業における労働災害発生状況 編集部
	○行政の動き 8 第10次粉じん障害防止総合対策の推進について
	○わが社の安全 ①作業手順にフェールセーフを取り込み労働災害を防止する 14 ～宇治田原トンネル東作業所における取組み～ 戸田建設(株) 大阪支店 土木工事部工事2室 工事主任 宮野 友輔 ②遠隔管理システムを活用したりリモート型安全管理 18 ～コロナ禍における在宅環境下での現場安全管理への挑戦～ 清水建設(株) 土木東京支店 工事長 佐竹 省胤
	○建災防協進会 安全衛生保護具・機器コーナー 22 見直そう! マスク管理 (株)重松製作所 営業本部 マーケティング部 企画部長 渡邊 雅之
	○災害事例に学ぶ 24 ラジオ電波塔の中波によりクレーンに帯電
	○季節の食 25 ～夏の食材～ (一社)日本健美操協会 顧問 鈴木 照子
	○COHSMS認定 30 (株)竹中土木 大阪本店、大津建設(株)が新規認定、(株)熊谷組、(株)鴻池組が更新認定!! 建設業労働安全衛生マネジメントシステムセンター
	○建災防の活動 31 台湾「中華民國工業安全衛生協會 民國112年度総会」に出席
	○災害統計 32

建災防からのお知らせ

◆熱中症防止関係の出版物等のご案内/DVD「目で見える石綿含有建材の除去作業」のご案内 26

TOPICS

◆「令和5年度全国安全週間を迎え」と題し、厚生労働省 金石英雄安全課長様の巻頭言を掲載しました。ご一読いただき、全国安全週間を機に安全に関するルールを再確認され、安全活動に取り組んでいただきますようお願いいたします。

◆特集では、令和4年における労働災害発生状況を取り上げています。新型コロナウイルス感染症によるものを除いた令和4年の建設業における労働災害の死者数は281人と前年に比べて3人増加し、2年連続の増加となりました。また、休

業4日以上死傷災害については14,539人と、前年に比べて377人減少となっています。

◆粉じんにさらされる労働者の安全と健康を守るために、今後5年間、事業者が実施すべき措置を示した「第10次粉じん障害防止総合対策」が策定されました。全文を掲載していますので、粉じんばく露防止対策の推進のためご確認をお願いします。